

講師 荒川洋治 氏

東村山市立図書館 文学講演会

現代詩作家・日本芸術院会員

草野心平の詩、北條民雄、小林勝の小説など、
東村山市ゆかりの文学作品その他をもとに、
日本文学の魅力と特質について語っていただきます。

日時 令和2年（2020年）10月24日（土）

午後2時から4時

（午後1時30分開場）

場所 東村山市立中央公民館 4階

レクリエーションルーム（室内履きをお持ちください）

（西武新宿線 東村山駅東口から徒歩2分）

定員 30名

申し込み 令和2年9月30日までに

① 東村山市立中央図書館カウンター

② 電話

③ 電子申請

（東村山市ホームページ・オンラインサービス・電子申請から）

のいずれかでお申し込みください。

*応募者多数の場合抽選になります。

主催 東村山市立図書館

申し込み・問い合わせ電話 042-394-2900

東村山ゆかりの名作

荒川洋治（あらかわ・ようじ）

1949年、福井県生まれ。早大卒。詩集に『水駅』（第26回H氏賞）、『渡世』（第28回高見順賞）、『空中の茱萸』（第51回読売文学賞）、『心理』（第13回萩原朔太郎賞）、『北山十八間戸』（第8回鮎川信夫賞）、評論・エッセイ集に『忘れられる過去』（第20回講談社エッセイ賞）、『文芸時評という感想』（第5回小林秀雄賞）、『過去をもつ人』（第70回毎日出版文化賞書評賞）、文庫に『詩とことば』（岩波現代文庫）など。最新刊は、エッセイ選集『文学は実学である』（みすず書房）10月初旬発行予定。東村山市在住。

2018年度、恩賜賞・日本芸術院賞を受賞。日本芸術院会員。